

2024年08月 現在

Fujitsu Software

Systemwalker Desktop Restore Standard V16.0.1

Systemwalker Desktop Restore (Standard)は、瞬間復元、ディスクイメージ取得・配信、モニタリング・遠隔操作、端末の基本情報収集、WindowsUpdateの支援機能、スケジューラー、システムリカバリなどの機能を持った、パソコンの運用管理を支援するソフトウェアです。

学校のパソコン教室に設置される共用PC (Windows) の環境維持や企業の端末貸出運用などに適用可能です。

- **サーバ機能**
(詳細は留意事項を参照)
マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY

- **コンソール機能**
(詳細は留意事項を参照)
マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY

- **クライアント機能**
(詳細は留意事項を参照)
マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV

- **サーバ機能**

(詳細は留意事項を参照)

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **コンソール機能**

(詳細は留意事項を参照)

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **クライアント機能**

(詳細は留意事項を参照)

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit)

1. Systemwalker Desktop Restore エディション別の機能一覧

Systemwalker Desktop Restore はエディションにより、ご利用いただける機能が異なります。各エディションで利用できる機能は、以下の機能一覧をご確認ください。

		Systemwalker Desktop Restore			
		Lite	Standard	Professional	Cloning Grade
パソコン環境の瞬間復元機能		●	●	●	
Windowsアップデートの自動化機能		●	●	●	
リモート画面操作機能		●	●	●	
利用者情報収集機能		●	●	●	
棚卸し機能		●	●	●	
システムリカバリ機能	ディスクイメージ配信機能		●	●	●
	USBリカバリ機能			●	●
	かんたんリカバリ機能				●
資源配付機能				●	
ディスクデータ消去機能				●	

2. パソコン環境の瞬間復元機能

利用者が自由にパソコンの環境を変えても、再起動するだけで自動的に正常な環境に復元します。トラブルの未然防止に役立ちます。

(1) ウイルス対策ソフトとの連携

瞬間復元を行っても、ウイルス対策ソフトのパターンファイルなどは最新の状態を維持します。

(2) 個人設定情報の維持

IMEの辞書やEdgeブラウザのブックマークなど、個人設定情報の状態を維持します。

Systemwalker Desktop Restoreの瞬間復元機能は、大きく分けて2つの復元タイプがあります。

[ファイル・フォルダ単位]

Systemwalker Desktop Restoreの基本機能である「ディスクの内容を元の状態に戻す」動作を、ディスク内のファイルやフォルダ単位で指定します。ディスク内の利用者のデータをファイル・フォルダ単位で復元できます。

[パーティション単位]

Systemwalker Desktop Restoreの基本機能である「ハードディスクの内容を元の状態に戻す」動作を、ディスクのパーティション単位（1つのパーティションのみ）で指定します。

3. Windowsアップデートの自動化

WSUS(Windows Server Update Services)およびMicrosoft社アップデートサイトと連携し、セキュリティパッチ適用作業の省力化を図ります。

スケジュール設定による実行、または即時実行を実施することで最新の修正プログラムを自動適用できますので、管理者の負荷を大幅に軽減します。

4. リモート画面操作機能

リモートマシン上の画面から複数パソコンの画面を一覧表示し、各利用状況をリアルタイムに確認できます。

画面の表示方法はL字型表示、パネル型表示、レイアウト表示を選択できます。また、複数パソコンに対して遠隔から一斉操作を行うことができます。

- 遠隔操作
- 電源ON/電源OFF/再起動
- ログオン/ログオフ
- メッセージ送信
- ドラッグ&ドロップによるファイルのコピー、対象ファイルの指定による回収
- 画面転送（特定のパソコン画面を他のパソコン画面に表示）

5. 利用者情報収集機能

各パソコンの利用情報を収集/集計できます。

収集した情報を蓄積・グラフ化することにより、各パソコンの利用状況を分析することができます。

パソコン稼働時間、電力消費累計は複数の値に換算して可視化が可能です。

- 電力量
- CO2排出量
- 原油量

6. 棚卸し機能

各パソコンの所在/状況確認をSystemwalker Desktop Restoreコンソールから確認できます。

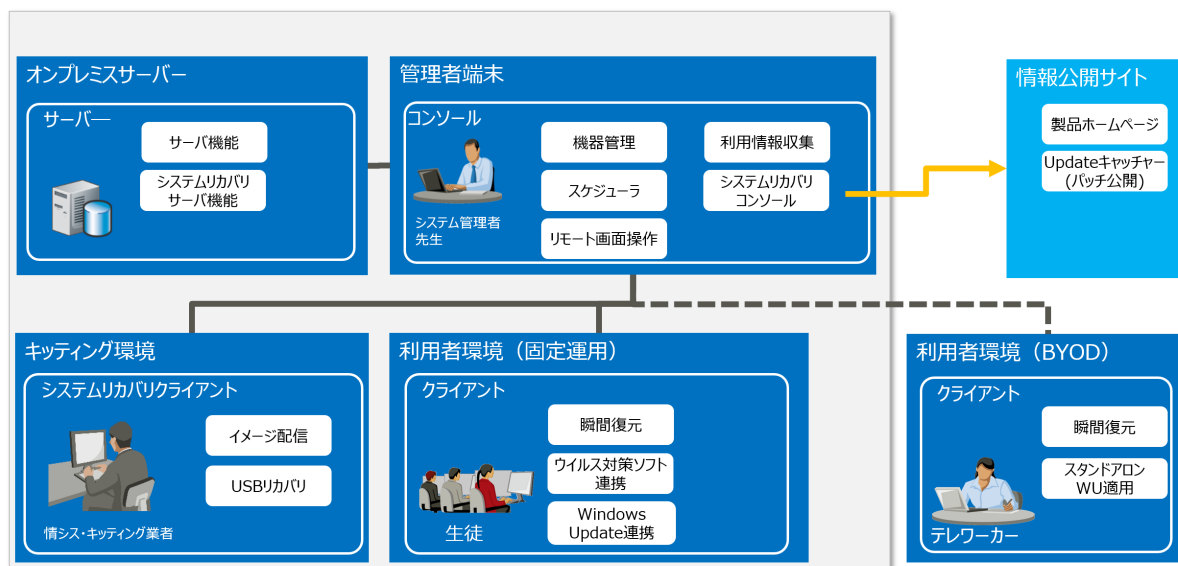
リモートから指示を行い、各パソコンの管理項目(管理部門、管理者名、設置場所、棚卸実施者など)を通知させることができます。長期間アクセスのない機器、存在が確認できない機器などを発見した場合は、管理者へ通知します。

7. システムリカバリ機能（ディスクイメージ配信機能）

雛形となるパソコンのディスク環境（ディスクイメージ）を一斉配信することで、複数のパソコンのセットアップ作業を高速かつ正確に実施できます。

ディスクイメージ配信後、自動で個別の環境設定をすることができます。操作はネットワーク経由で行うことができ、各パソコン上での操作は不要です。

- コンピュータ名、IP アドレスなどの変更
- SID の変更
- OS のアクティベーション
- ドメイン参加
- 指定したコマンドやバッチファイルの実行
- 『Systemwalker Desktop Restore』クライアント機能のサイレントインストール



V16.0.0からV16.0.1への機能強化項目は以下のとおりです。

1. 4Kセクターのハードドライブへの対応

物理形式が4,096バイトセクター（4Kまたは4KBセクターとも呼ばれる）に対応したハードディスクドライブ・SSD へのクライアント機能インストールに対応しました。

2. 新環境への対応

以下の新環境への対応いたしました。

- ・ Windows 11 の大型アップデート 23H2（FU）対応
- ・ FMV 2024年モデルのイメージ取得/配信対応

・ オンラインマニュアル

- Systemwalker Desktop Restore V16 リリース情報
- Systemwalker Desktop Restore V16 利用に際しての制限事項/留意事項
- Systemwalker Desktop Restore V16 導入ガイド
- Systemwalker Desktop Restore V16 ユーザーズガイド
- Systemwalker Desktop Restore V16 リモート画面操作機能
- Systemwalker Desktop Restore V16 特殊環境（マルチブート・複数環境・分散）
- Systemwalker Desktop Restore V16 Windows Update 連携機能
- Systemwalker Desktop Restore V16 クライアント環境設定ヘルプ
- Systemwalker Desktop Restore V16 システムリカバリ機能(ディスクイメージ配信機能編)

【メディア】

- ・ Systemwalker Desktop Restore Standard メディアパック (64bit) V16.0.1

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Systemwalker Desktop Restore Standard 1クライアントライセンス for Windows (SL&S)
- ・ Systemwalker Desktop Restore Standard 100クライアントライセンス for Windows (SL&S)
- ・ Systemwalker Desktop Restore Standard 1000クライアントライセンス for Windows (SL&S)

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（CD/DVD等）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ/レベルアップすることはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. サーバライセンスについて

サーバ機能、コンソール機能は、インストールフリーです。

3. クライアントライセンスについて

クライアント機能は、クライアント機能をインストールするパソコンの台数分、クライアントライセンスを購入してください。

4. サブスクリプションライセンス/サポートでの最新プログラムの提供について

サブスクリプションライセンス/サポート契約の一環として、最新バージョン/レベルのプログラムを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

5. パッケージ構成について

Systemwalker Desktop Restore メディアパックには、以下のプログラムが同梱されています。

- サーバプログラム（サーバ機能）
- コンソールプログラム（コンソール機能）
- クライアントプログラム（クライアント機能）
- オンラインマニュアル

6. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

【V16.0.0以降】

[1クライアントライセンス for Windows (SL&S) / 100クライアントライセンス for Windows (SL&S) / 1000クライアントライセンス for Windows (SL&S)に適用されるライセンス使用条件]

特約事項の適用なし。

7. 購入例について

Systemwalker Desktop Restore は、クライアント機能をインストールする端末台数分のライセンスを購入する必要があります。サーバ機能、コンソール機能はインストールフリーのため、お客様が必要とする台数分ライセンス不要でインストールしていただくことができます。

（購入例1）

一つの教室が

- ・サーバ（1台）：サーバ機能、コンソール機能をインストール
- ・教師用端末（1台）：コンソール機能をインストール
- ・生徒用端末（30台）：クライアント機能をインストール

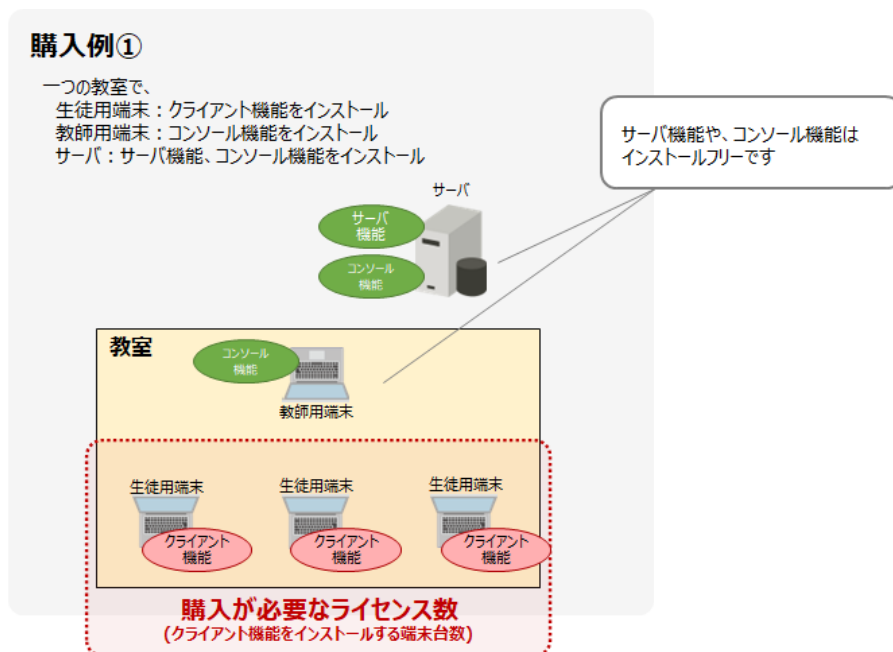
で構成されている場合、必要となるライセンス数はクライアント機能がインストールされる生徒用端末の台数となり30となります。

(購入例2)

二つの教室それぞれが、

- ・サーバ(1台)：サーバ機能、コンソール機能をインストール
- ・教師用端末(1台)：コンソール機能をインストール
- ・生徒用端末(30台)：クライアント機能をインストール

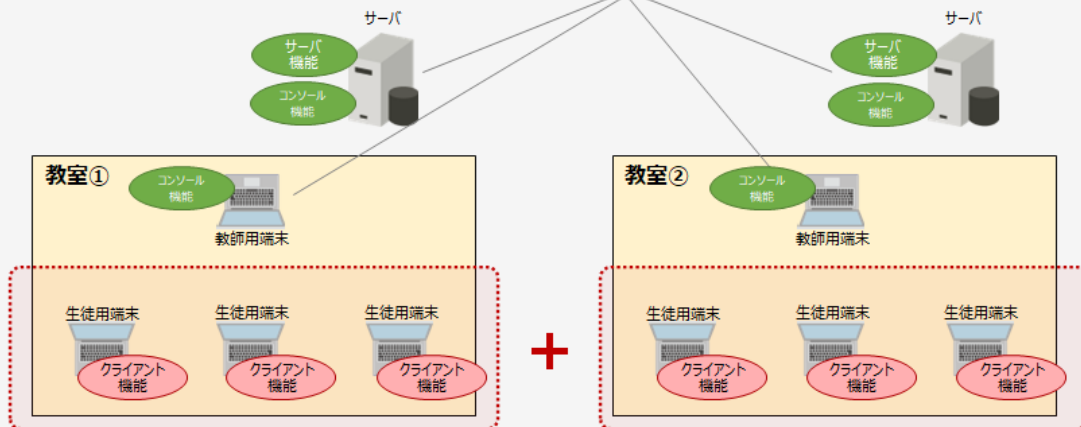
で構成されている場合、必要となるライセンス数はクライアント機能がインストールされる2教室分の生徒用端末の台数となり60となります。



購入例②

複数の教室それぞれで、
生徒用端末：クライアント機能をインストール
教師用端末：コンソール機能をインストール
サーバ：サーバ機能、コンソール機能をインストール

サーバ機能や、コンソール機能はインストールフリーで、
複数台の機器に導入することができます



購入が必要なライセンス数
(クライアント機能をインストールする端末台数)

1. サーバ機能を使用する場合

サーバ機能を使用する場合は、以下のソフトウェアが必要です。

- ・Microsoft SQL Server 2017 Express

Microsoft SQL Server 2017 Expressは本製品に同梱されておりますので、必ず同梱されたものをご利用ください。

2. システムリカバリ機能（ディスクイメージ配信機能）を使用する場合

システムリカバリ機能（ディスクイメージ配信機能）を使用する場合は以下のソフトウェアが必要です。

- ・Windows PE 作成ツール

Windows PE 作成ツールはMicrosoft社のWebサイトより入手してください。

なお、必要となるWindows PE 作成ツールはMicrosoft社が提供している最新バージョンではありませんのでご注意ください。対応可能なバージョンの詳細は導入ガイドを参照してください。

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品のサーバ/コンソール機能は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016 (64-bit)
- Windows Server 2019 (64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

2. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作について

本商品のコンソール/クライアント機能は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

3. サーバ/コンソール機能の対象OS

本商品のサーバ/コンソール機能は、以下の64-bit OSを対象としています。

- ・ Windows Server 2016 Standard / Datacenter
- ・ Windows Server 2019 Standard / Datacenter
- ・ Windows Server 2022 Standard / Datacenter
- ・ Windows 10 Pro / Pro for Workstations / Education / Pro Education / Enterprise
- ・ Windows 10 Enterprise LTSC 2021 / LTSC 2019 / 2016 LTSB
- ・ Windows 11 Pro / Pro for Workstations / Education / Pro Education / Enterprise

Windows 11 Home、Windows 11 SE、Windows 10 Home、Windows 10 S および ARM版Windows には対応していません。

4. クライアント機能の対象OS

本商品のクライアント機能は、以下の64-bit OSを対象としています。

- ・ Windows 10 Pro / Pro for Workstations / Education / Pro Education / Enterprise
- ・ Windows 10 Enterprise LTSC 2021 / LTSC 2019 / 2016 LTSB
- ・ Windows 11 Pro / Pro for Workstations / Education / Pro Education / Enterprise

上記のOSであってもサーバーハードウェアにインストールされている場合は対象外となります。

Windows 11 Home、Windows 11 SE、Windows 10 Home、Windows 10 S および ARM版Windows には対応していません。

5. Systemwalker Desktop Restore全般

Systemwalker Desktop Restoreのご利用に際しては必ず「Systemwalker Desktop Restore - 制限・留意事項」を参照ください。

参照先については「関連URL」に記載しています。

6. サーバ機能の導入について

サーバ機能を導入するPCについては以下留意事項があります。

(1) ドメインコントローラへの導入

サーバ機能インストール後にドメインコントローラのロールを変更（メンバサーバからドメインコントローラに昇格する、あるいはドメインコントローラからメンバサーバに降格する）すると、SQL Serverが正しく機能しなくなります。

ロールの変更を行いたい場合は、事前にSystemwalker Desktop Restoreサーバ機能とSystemwalker Desktop Restoreに関するSQL Serverデータベースをアンインストールしてから実施してください。

(2) コンピュータ名の変更

サーバ機能をインストールしたPCのコンピュータ名を変更することはできません。

コンピュータ名を変更したい場合は事前にサーバ機能をアンインストールしてから実施してください。

(3) サーバ機能を再インストールする場合

過去にインストールされたサーバ機能が利用していたSQL Serverのインスタンスが残っている場合、事前にインスタンスを削除してからサーバ機能のインストールを行ってください。

7. システムリカバリ機能について

本機能は Professional / Standard / Cloning Grade のエディションが対象となります。

- ・システムリカバリ機能を動作させるには、DHCP機能が必須です。Windows OS 標準のDHCP機能を推奨します。
- ・管理対象となるクライアントコンピュータから、システムリカバリサーバ以外に、他のPXEサービスが参照可能である環境では、ご利用になれません。
- ・PXEサービス、TFTPサービスがすでにインストールされているコンピュータにはシステムリカバリサーバ機能をインストールすることはできません。
- ・管理対象となるクライアントコンピュータから、複数のDHCPサービスが参照可能である環境では、正常に動作しない場合があります。
- ・ディスクイメージ格納先パーティションのファイルシステムは、NTFSフォーマットである必要があります。
- ・リカバリ可能なディスク装置

コンピュータに内蔵されるディスク装置のみがリカバリの対象となり、USB接続等による外部媒体はリカバリできません。

- ・管理コンソール機能とサーバ機能を別のPCにインストールする場合

管理コンソール機能とサーバ機能が別筐体に設置されている場合、Systemwalker Desktop Restoreコンソール機能はシステムリカバリ機能进行操作するために、システムリカバリサーバがインストールされているOSの共有ファイルアクセス権を利用します。

- ・各種アプリのアクティベーション

アクティベーションが必要なアプリケーションを含んだディスクイメージを配信する場合、当該アプリケーションのアクティベーション方法を確認の上、ライセンス違反とならないよう注意してください。

8. 競合するソフトウェア

Systemwalker Desktop Restoreと競合し動作できない、あるいは正常に機能しない製品が存在します。

以下の製品は弊社が確認している一部になります。最新情報については「関連URL」に記載している「Systemwalker Desktop Restore - 制限・留意事項」を参照ください。

- (1) ディスクの最適化を行うソフト全般
- (2) ディスク修復ソフト全般
- (3) パーティション変更ソフト
- (4) ディスク暗号化ソフト

- (5) USN ジャーナルを利用したソフト
- (6) 仮想マシン提供ソフト
- (7) USB 接続セキュリティーキー
- (8) エクセル統計（社会情報サービス社製）
- (9) Vectorworks（エーアンドエー株式会社製）
- (10) Intel Rapid Start Technology（インテル株式会社製）
- (11) SuperMap GIS（日本スーパーマップ株式会社製）
- (12) Mastercam（株式会社ゼネテック社製）
- (13) EMBASSY Security Center（Wave Systems社製）
- (14) OneDrive（Microsoft社製）
- (15) ワークフォルダー（Microsoft社製）
- (16) PCL+クライアント（テクニカルニットウ社）
- (17) 定期的にアクティベーションを必要とするソフト 定期的にアクティベーションを必要とするソフト

9. 修正プログラムの入手方法について

本製品の修正プログラムは、コンソール機能に搭載されている「Updateキャッチャー」機能でのみ入手可能となります。

10. サブスクリプションライセンスのサポート時間帯について

本商品のサブスクリプションライセンスのサポート時間帯は平日のみとなります。

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（Systemwalker Desktop Restore）**

製品概要や動作環境、導入事例、価格等、製品紹介資料を幅広く提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/systemwalker/desktop-restore/>

- **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- **ソフトウェア：富士通（マニュアル）**

富士通のソフトウェア製品に添付されているマニュアルが閲覧できます。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/manual/>

- **Systemwalker Desktop Restore - 制限・留意事項について**

Systemwalker Desktop Restore を利用するにあたっての制限事項および留意事項についてまとめています。「制限事項・留意事項」をご確認ください。

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/enterprise-solutions/business-applications/shunkai/desktop-restore/>